

## 防犯コラム 02 「泥棒心理」

### ■ 泥棒が一番嫌なことは？

泥棒にとって一番嫌なことは何でしょうか？それは、言わずもがな「捕まる事」では無いでしょうか？  
幾ら大金を掴めても捕まってしまっただけでは元も子もありません。

### ■ 泥棒は馬鹿ではない

泥棒をすることは大変馬鹿なことです。しかしながら、泥棒は馬鹿でしょうか？実は、泥棒は非常に狡猾であり、どうすれば簡単に金品を手にし「捕まらないか」を熟考しています。  
よく考えてみてください。仮にあなたが泥棒をするとして、何も考えずに実行するでしょうか？

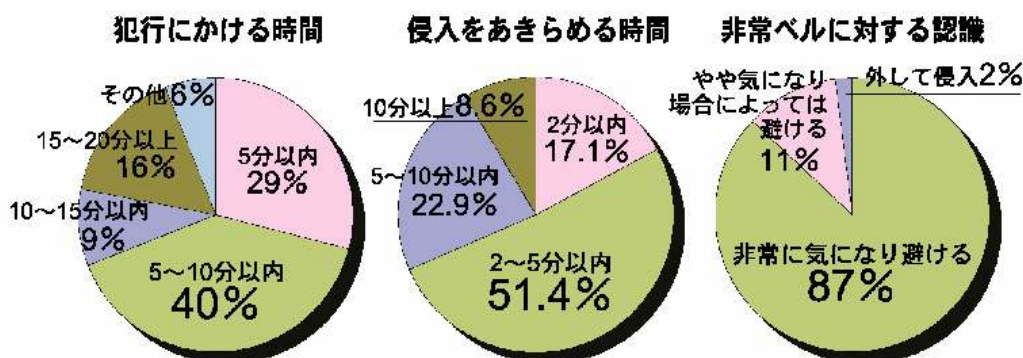
### ■ 本当にとられる物は無いのか？

よく防犯のお話をさせて頂くと、「うちには盗られる物も、お金も無い」などおっしゃられる方がいます。  
しかしながら、仮に時給2万円。完全フレックスで自由に勤務時間が決められる仕事があったとしたら・・・。  
毎日、1時間。1ヶ月に20日間。月給40万円の税金なしだとすると、どうでしょうか？金額面だけ見ると非常に割りの良い仕事では無いでしょうか？（くれぐれも言いますが、泥棒なんて決して割りは良くないのですが・・・。）  
つまり、泥棒にとっては、考えようによっては2万円になればソコソコな収益なのです。  
この2万円はお金に限ったものでは有りません。転売し、2万円相当の価値になれば、良いのですから・・・。  
オーディオ、ブランド品、ゲーム機、パソコンなども十分に価値が有ります。  
2万円が家に無い方はいらっしゃいますでしょうか？実際、学生アパートなどを狙った犯行も思いのほかあつたりします。  
学生アパートは決して、お金を持っているとは言えないのですが、パソコンやブランド品、ゲーム機など泥棒にとって、宝の山が有り

- 1) 防犯カメラやオートロックなどが無い建物も多い
  - 2) 不在時間が同じ(夏休みなどもある)
  - 3) 閑静な住宅街など人通りの少ない所にある場合も多い
  - 4) 室内の構造が同じで侵入後の物色が容易である
  - 5) 一人暮らしである
  - 6) 近所付き合いが無い
- などの泥棒にとって好条件であると言えます。

### ■ 泥棒は光と音、目が大嫌い

先に申し上げたように、泥棒は「捕まりたくない」のですから、出来るだけ証拠や目撃者を無ないように犯行したいと思うものです。  
泥棒にアンケートを行った結果が下記のグラフです。



出典:警視庁生活安全部資料/都市防犯研究センター資料

なんと10分以内の犯行が約7割も占めていることが分かります。  
泥棒は、スピードこそが最も成功率を高めると考えているわけです。

■ 泥棒は不在確認をどうやって行うのか？

多くの泥棒は、不在確認を行い侵入するのですが、その際の手口としてインターホンを使うと言われています。  
そのためカメラ付のインターホンは万が一、家人が在宅していた場合、顔を見られたり不審に思われたり、昨今の最新式のインターホンは録画機能があったりするので、敬遠されると言われています。